

安
安心・安全

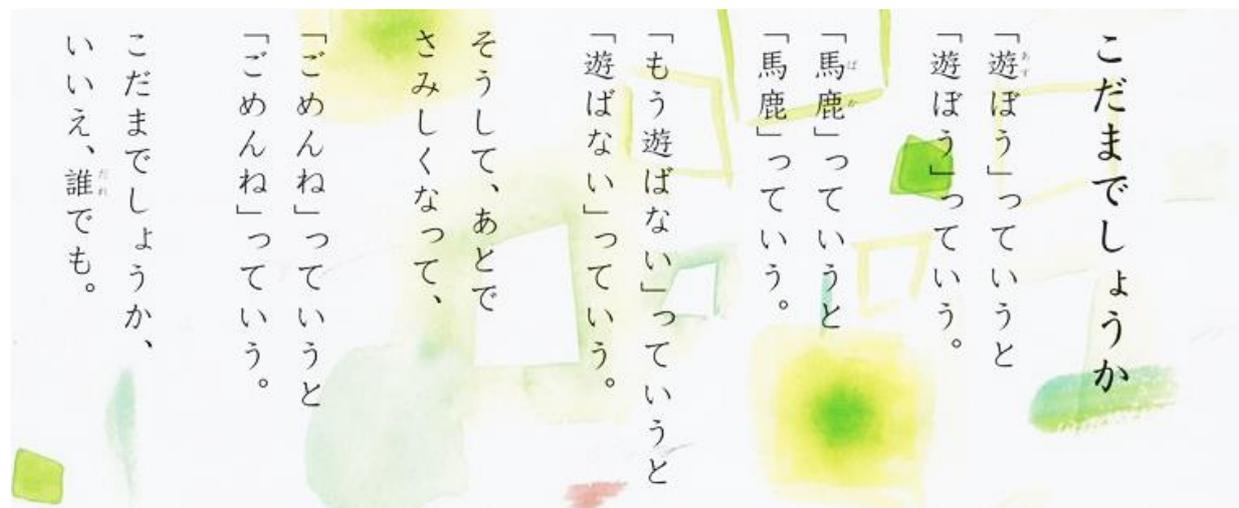
学
深い学び

健
心と体の健康

作成：土幌町教育委員会

こだまでしょうか

下は、平成26年に行われた「全国コミュニティ・スクール研究大会」で基調講演された矢崎節夫さん(金子みすゞ記念館 館長)の講演概要を掲載した『浦幌小中一貫 CS 便り』からの引用です。



【講演から素敵な言葉をまとめました】

- ◎「あなたとわたし」の関係に気づかせてくれる詩。「わたしとあなた」ではない。
- ◎周りに気づいて「わたし」になる。「わたし」をつくる。
- ◎子どもの誕生日は親になった誕生日でもある。「子ども」が「親」にしてくれた。
- ◎けがをして「痛くない。泣くな。」ではない。「痛いね。」「つらいね。」⇒『こだま』が大切。
- ◎「やさしい」は、「憂いている人に寄り添う」と書いて「優しい」となる。
- ◎だれかと許しあって「人」になる。

CSは、「学校と地域」であり、「地域と学校」でもある。相手を敬い、感謝する気持ち。たがいに寄り添い、子どもをより良く育むことが大切であることに改めて気づかされました。

コミュニティー・スクール(CS)の先駆け時点で行われた全国大会での講演です。CSの基本的な姿が示されています。学校と地域の関係性が、「**双方向のつながり**」であることが重要なことが分かります。前号のイメージ図で示した、「**参加から参画へ**」「**協力から協働へ**」というワードも、その延長線上にあるものなのです。

◆「蝦夷梅雨ではなく、梅雨です。」ある気象予報士が言っていました。土幌の6月7月の雨量や気温、湿度など、確かに本物の梅雨のことなのでしょうね。◆これもきつと「今年だけ」の話ではなく、確実に進む「気候変動」の一つの現れなのではないでしょうか。◆「SDGs」「ゼロカーボン」等の重要性が叫ばれているのは、皆さんご承知のとおりです。◆未来を生きる子どもたちにより良い社会、住みよい地球を残してやるべきことが、我々大人の使命です。CSの活動も、そんな願いを共有した取り組みになることが大事です。

◆この「CSだより」は、今回から土幌町HPへの掲載とさせていただきます。各月一日のアップを基本とします。次号からは各学校(園)での活動の様子も掲載していく予定です。◆学校と地域をつなぐ「こだま」になることを願いつつ。

(渋谷)